

評価と実績モニタリング

CCC プログラムの評価は、達成度評価ワークシートの記入と有効性の評価を伴う行動プランの作成など、被交付者が実績モニタリング要件を完了することも期待されています。

2.1

評価利害関係者と、関係する主要利用者



このセクションは、評価プロセス全体を通じた利害関係者との連携に関するガイダンスを提供します。以下の点で、役立つことを目的としています。

- あなたの CCC プログラムの評価に関わるべき重要な個人またグループを明らかにする。
- 評価において、いつ、どのように利害関係者と連携するかを決定する。
- 26 ページに提供されるワークシートのテンプレートを用いて、これらのスキルを適用する。

評価利害関係者は、プログラムによる投資を受けた、評価の結果に興味を持つ、そして評価結果を用いて行われることと利害関係がある、重要な人々または団体です。利害関係者は、評価計画、実施、および知見の共有と活用など、評価のあらゆる局面で重要な貢献を行うことができます。



「A Practical Guide for Engaging Stakeholders in Developing Evaluation Questions」については、ロバート・ウッド・ジョンソン基金 (Robert Wood Johnson Foundation) のウェブサイトを御覧ください。

<http://www.rwjf.org/files/research/49951.stakeholders.final.1.pdf>

CCC プログラム評価の利害関係者には、プログラムのスタッフと指導部；部族指導部；CDC の DCPC または国内のがん関連団体などの援助資金提供者と基金提供者；共同研究機関；学術機関と地域衛生局からのがん対策および評価の専門家；およびがん患者、元がん患者およびその家族など、あなたの研究の参加者を含めることができますが、これだけには限られません。

評価利害関係者をどのように特定し、連携するか？

簡単な「利害関係者評価」は、あなたの CCC プログラムの評価全体を通じて連携する必要がある重要な個人またはグループを特定するのに役立つことができます。私たちは、利害関係者評価という用語を、どのパートナーが評価と利害関係があるか、その利害関係者はどの評価構成要素に興味を持っているか、また利害関係者は評価プロセスを通じてどのような役割をはたすことができるかをじっくりと検討するための系統的なプロセスを意味して使っています。プログラムの責任者は、主なプログラムスタッフと共に利害関係者評価に記入することができますし、もし外部評価者を雇うか評価委員会を設置することが既に決定されているのであれば（セクション 1：「評価の手引き」を参照して下さい）、プログラムの責任者はその人達と協力して評価利害関係者を特定することもできます。



このセクションの 26 ページと付録 A に提供されている利害関係者評価ワークシートのテンプレートは、評価利害関係者が誰であるか、また評価におけるその役割をじっくりと検討するのに役立つように作られています。

評価利害関係者をいつ特定し、連携するかを検討する場合、どの要因が重要か？

● 評価利害関係者グループの構成

評価利害関係者グループの構成は、（評価が適切なデザインとデータ収集と分析の方法を適用するとすれば、）有用で、関連性があり、信頼できる評価知見を生み出す、思慮に富んだ評価課題の作成に強く影響します。理想的には、評価利害関係者グループは次のような個人で構成される必要があります。

- 評価または CCC プログラムの専門知識がある人物。
- 多様な考え方を代表する人物。
- プログラムの実施、モニタリング、および／または維持に責任を負う人物。
- 被交付者期間、CCC 連合、州、部族、またはテリトリーに対して影響力がある人物。
- 包括的がん対策に強い関心があり、支援したいと希望する人物。
- 協力の同意（buy-in）と支援を得るうえで助けになる、評価の唱道者。

● 反対勢力との連携

あなたのプログラムの運営について疑問と懸念をいくつも提起する利害関係者は排除したい誘惑に駆られるかもしれません。しかし、これらの批判は、計画される評価の取り組みの弱点またはギャップを明らかにするうえで役立つ可能性があります。彼らの意見の提供は、評価知見を報告する時に批判を予想し、反対意見に対処するために役立つ可能性があります。批判者が評価計画または実施プロセスを混乱させることが懸念されるのであれば、全体的な評価利害関係者グループの外でかれらと連携し、外部レビュアーまたはデータ収集源となることを要請することを検討して下さい。このレベルの連携であれば、批判者のフィードバックを非常に構造的な方法で収集し、レビューし、反応することができ、あなたのプログラム評価において批判者が建設的であるよう保証するうえで役立ちます。

- **扱いやすい数の利害関係者を動員する**

評価利害関係者グループは、あなたの CCC 連合同様の方法で運営する必要があることを念頭に置いて下さい。メンバーの役割と責任を明確に確認し、ミーティングを計画して円滑に進め、また定期的なコミュニケーション手段を設ける必要があります。評価利害関係者グループを作るときには、あなたが効率的に運営できるグループ規模を現実的に考えてください。スタッフの時間とミーティングの予算など、この作業に割かなければならないリソースの程度を考慮してください。評価の作成と実施の全体を通じて、できれば評価知見の主要利用者である評価利害関係者の小規模グループで緊密に作業を進めるのが、あなたにとって辛うじて実行可能であるかもしれません。しかし、これによって、CCC 連合のメンバーなど価値ある利害関係者を、あなたの評価の取り組みに関する重要な情報を受ける機会から排除するわけではありません。評価の作成と実施において利害関係者がどのような機能的役割を果たすことを選んだかに関わらず、このプロセスを通じて全ての利害関係者と情報の共有を続けることが重要です。

- **リソースの制約を開示する**

リソースの制約は、利害関係者の動員と利害関係者グループの推進力に難題を引き起こす可能性があります。しかし、あなたのプログラムが評価の取り組みに割くことができるリソースの程度に関して率直であることが重要です。透明性は、現実的で有用な評価デザインを作るために利害関係者と協力する上で役立ちますし、パートナーの寄与をもたらしてあなたの評価リソースを拡大する可能性さえもあります。

- **評価要件に取り組む**

評価に対する参加型アプローチと評価要件に対するあなたのニーズの均衡を保つことは重要な意味を持ちます。資金提供者が評価に期待する内容（つまり、あなたが CCC の予算の受領者として完了しなければならない全評価活動）に関しては、利害関係者に対して率直でありましょう。利害関係者は、（１）あなたの評価要件が何であるか、（２）要件に応えることがあなたの評価作業の優先事項であることを知る必要があります。

CDC フレームワークの評価基準は、評価利害関係者を特定し、連携する際のありふれた落とし穴を避けるために役立てることができます。表 3 は、評価利害関係者グループとの評価作業に基準を適用するために考慮すべき点を盛り込んでいます。

表3 利害関係者の特定と連携への評価基準の適用

評価基準	考慮すべき事柄
有用性	<ul style="list-style-type: none"> 誰が評価結果を利用するか？
実行可能性	<ul style="list-style-type: none"> 利害関係者の動員と管理のために、私たちのプログラムはどの程度のリソースを割くことができるか？
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 私たちは、予測される作業負荷と参加機会に関して、利害関係者に対して正直で率直であるか？ 私たちは利害関係者と評価要件と考えられる課題（例えば、限られたリソース）について明確にコミュニケーションしたか？
正確性	<ul style="list-style-type: none"> 私たちがプログラムの正確な状況を確実に描き出すために、利害関係者グループにどのスキルセットと観点を示すべきか？

プログラム評価で利害関係者が果たす役割は？

利害関係者は、評価計画、実施、および知見の共有と活用など、評価のあらゆる局面で重要な貢献を行うことができます。評価のニーズおよび利害関係者のスキルと興味に基づいて、評価利害関係者グループのメンバーは以下のような立場で連携することができます。

- 評価の計画と方法の外部レビュアー
- 評価諮問委員会のメンバー
- データ収集源（すなわち、評価面接と調査の参加者）
- データ収集者
- データ分析者
- 知見の解釈者
- 執筆者（例えば、最終評価報告書、草稿、要約）およびプレゼンテーション作成者
- コミュニティのパートナーおよび政策担当者と知見を共有する、発表者または首唱者

全ての利害関係者があなたのプログラム評価の全ての局面に参加するとは限らないことに留意してください。一部の利害関係者は、評価計画のみに貢献するかもしれませんが、一方で他の参加者は、支援実施の提供または評価知見の共有に限られるかもしれません。

利害関係者の特定のためのツールとテンプレート

このセクションでは、上に挙げた情報を各プログラムに当てはめるうえで役立つワークシートを示します。まず、白紙テンプレートのワークシートを、次に参考として記入例を示します。

ツールとテンプレート：利害関係者評価ワークシート（白紙テンプレート）

1. **利害関係者の特定**：(1) 評価に利害関係があり、かつ(2) 評価結果を利用する、主な個人または団体を列挙して下さい。評価に関する各利害関係者の興味の対象を明らかにして下さい。

評価利害関係者	利害関係者が知りたい点

ツールとテンプレート：利害関係者評価ワークシート（記入例）

I. 利害関係者の特定：(1) 評価に利害関係があり、かつ(2) 評価結果を利用する、主な個人または団体を列挙して下さい。評価に関する各利害関係者の興味の対象を明らかにして下さい。

評価利害関係者	利害関係者が知りたい点
衛生局の指導部	<ul style="list-style-type: none"> CCC プログラムの取り組みの支援に活用されたりソースを明らかにする。
議員	<ul style="list-style-type: none"> サービスを受けている人々の人数と、介入が生み出す目的とする認識、行動および／または参加者の健康転帰の程度を明確にする。
介入参加者	<ul style="list-style-type: none"> 介入が生み出す目的とする認識、行動および／または参加者の健康転帰の程度を明らかにする。
CDC の DCPC	<ul style="list-style-type: none"> CCC 連合の質、貢献、および影響をレビューする。 州規模の CCC 計画の質、実施、および進展をレビューする。 CCC 行動計画に概要が示された介入が実行され、目的とする結果を生み出している程度を明らかにする。
地域の米国癌協会のパートナー	<ul style="list-style-type: none"> 米国癌協会の成果が CCC プログラムの取り組みに効果的に組み込まれているかを明らかにする。

II. 利害関係者の参加：上に列挙した各利害関係者について、あなたのプログラム評価において、いつ、どのように連携できるかを述べて下さい。利害関係者の専門分野、興味の対象および参加可能であるかを必ず考慮して下さい。

評価利害関係者	利害関係者とどのように連携するか	利害関係者といつ連携するか
衛生局の指導部	<ul style="list-style-type: none"> 評価諮問委員会のメンバー 州とコミュニティのパートナーと知見を共有する発表者/首唱者 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な評価諮問委員会のミーティングを通じて評価プロセスの全ての段階
議員	<ul style="list-style-type: none"> 評価の計画と方法の外部レビュアー 	<ul style="list-style-type: none"> 評価の計画段階
介入参加者	<ul style="list-style-type: none"> 評価諮問委員会のメンバー データ収集源（すなわち、評価面接と調査の参加者） 	<ul style="list-style-type: none"> 2人の担当者が定期的な評価諮問委員会を通じて評価プロセスの全ての段階に参加 評価の実施段階
CDCのDCPC	<ul style="list-style-type: none"> 評価の計画と方法の外部レビュアー 	<ul style="list-style-type: none"> 評価の計画段階
地域の米国癌協会のパートナー	<ul style="list-style-type: none"> データ分析者 州とコミュニティのパートナーと知見を共有する発表者/首唱者 	<ul style="list-style-type: none"> 評価の実施段階 普及段階

評価利害関係者の特定と連携のためのチェックリスト

- 評価利害関係者グループの招集、管理、および維持のために利用可能なリソース（例えば、人時、予算、ミーティング場所）の量を考慮する。
- 多様な観点と評価およびプログラムに関する専門知識を提供するパートナーの特定など、評価利害関係者グループの構成に関する重要な検討事項に取り組む。
- 評価リソースと優先事項、予測される課題、参加の機会、および作業負荷を含むがそれだけに限らない重要な問題について、評価利害関係者と明確かつ率直にコミュニケーションする。
- 評価プロセスを通じて、進行中のコミュニケーションを支援する方法を明確にするために利害関係者と協力する。
- 利害関係者がいつ、どのように連携するかを、都合がつく程度、興味とスキル、およびプログラムのニーズに基づいて明確にする。

プログラムの背景と説明

評価利害関係者と、
関係する主要利用者

プログラムの
背景と説明

評価の
計画と方法

知見の
普及と活用

このセクションは、評価の計画と方法を作成するための準備となる重要なステップである、あなたのプログラムの説明に関するガイダンスを提供します。以下の点で役立つことを目的としています。

- プログラムの詳細な説明の作成で利害関係者と連携する。
- あなたの CCC プログラムの詳細な説明を起草する。
- ページ 34 に提供されるワークシートを用いて、これらのスキルを適用する。

私たちは、「プログラムの詳細な説明」という用語を、以下の内容の集約を指して使います。

- **プログラムリソース**
プログラムのリソースとしては、現場で作業する人々（例えば、連携するメンバーまたはメンバーの団体、衛生局のスタッフ、学術的パートナー）、および資金調達源などが挙げられます。財源としては、州政府歳出予算、連邦機関、または財団などが挙げられるかもしれません。
- **重要な活動、活動によって生み出される数字に表れる結果、およびあなたのプログラム活動の目的とする成果**
一般的ながん対策活動は、トレーニング提供者およびコミュニティ全体の社会的マーケティング・キャンペーンの実施を含みます。これらの活動からの数字に表れる結果は、トレーニングの参加者数、またはキャンペーンで接触したコミュニティのメンバーの数などが挙げられます。これらの活動が目的とする成果としては、認識の向上、またはがん予防またはがん対策に関連する行動の変化などが挙げられます。
- **CCC プログラムの作成段階**
CCC の範囲内で、私たちは一般にプログラム作成の次の 2 つの段階、つまり（1）包括的がん対策計画を作成するための構成要素の適用を伴う、計画の起案、および（2）プログラムがパートナーと協力してプログラムの計画を行動に移す、実施、について触れます。プログラムの作成段階について表現する場合には、できるだけ具体的にできるように私たちは被交付者に勧めています。例えば、プログラムが実施段階にある場合には、計画の修正作業を開始しているか？プログラムが、場合によっては過去に成功したことに応じて、介入の焦点を移したり介入を拡大したりといった、優先順位の再決定の段階にあるか？

- **あなたの包括的がん対策の取り組みの成功に影響を及ぼす可能性がある独自のプログラム内容**

プログラム内容は、CCC 活動に影響がある歴史的、政治的なプログラムまたは団体、および地域社会的要因を含みます。具体例としては、多様な地域社会の独特な健康信仰；衛生局予算の制約；および公衆衛生機関とプログラムの焦点の方向を変える、州、部族、またはテリトリーの指導部の変化などが挙げられますが、それだけには限りません。



このセクションのページ 34 に提供されている概要は、あなたの CCC プログラムの詳細な説明を起草する助けになるように作られています。

プログラムの詳細な説明を評価利害関係者とともに作成することで、プログラム活動と目的とする成果、およびプログラムの運営状況の共通理解を構築するうえで役立ちます。そのため、プログラムの詳細な説明の作成は、評価計画の作成とその焦点の集束に関連するその後の評価作業を容易にします（次のセクション「評価の計画と方法」を参照して下さい）。

プログラムの詳細な説明の情報はどのように提示したらよいか？

あなたのプログラムに関する情報を提示するには、方法がいくつかあります。記述形式でプログラムを説明することを選ぶこともできますし、プログラムの重要な構成要素とそれらの意図した関係を表か略図を使って表現することもできます。ロジックモデルは、プログラムのリソース、活動および目的とする成果の間の関係の図による表現で、プログラムの説明を作成し、表現するための有用なツールです。しかし、CCC プログラムは、ロジックモデルを作成することは求められていません。

ロジックモデル

CCC プログラムは、ロジックモデルを作成することは求められていません。しかし、ロジックモデルは CCCB の全米的な評価の取り組みに、またロジックモデルがプログラムの説明と評価活動の計画とモニタリングに有用なツールだと考える部門に使用されています。

ロジックモデルの構成要素は？CCC プログラムのロジックモデルとはどのようなものか？

ロジックモデルは、一般的に、以下の内容を含みます。

- **インプット**とは、プログラムまたは介入に投資されるリソースです。インプットは、財政的、人的、および現物支給のリソースを含みます。
- **活動**とは、求められる成果を生み出すためにプログラムが実施する行動またはイベントです。
- **アウトプット**とは、プログラムの活動の直接的な眼に見える結果、または研究結果です。

- **成果**とは、プログラムの求められる結果です。成果は、短期的成果、中間成果、または長期的成果に分類できます。短期的成果は、プログラムが対象とする情報の受け手の知識や考え方を変えることに焦点を充てることが多いです。行動、規範、および政策の変化は、一般的に中間成果として分類されます。長期的成果は、住民の健康状態の変化など、達成までに数年かかる場合もある、プログラムの求められる結果を意味します。



CCC プログラムのロジックモデルの例については、このセクションの 35 ページの CCC プログラムの包括的詳細説明と付録 C を参照してください。

2.2

プログラムの詳細説明の作成に、利害関係者とどのように連携するか？

プログラムの詳細説明を作成するために評価利害関係者と協力する方法は、プログラムのリソースと利害関係者グループの規模などのいくつかの要因によって様々である可能性があります。下記は、利害関係者と協力してプログラムの詳細説明を作成するためのヒントです。

- **無駄な手間をかけない**

あなたは、全部ではなくとも、プログラムの詳細説明の大部分の構成要素について熟知しているだろうと思います。プログラムの詳細説明は、多くの場合 CCC の州計画や資金援助申請書に含まれています。これらの文書の説明は評価利害関係者からの情報提供で作成された可能性が高いので、更に簡潔な形式で要約して評価利害関係者のレビューを受ければ良いだけかもしれません。

- **被交付者要件に基づいて進める**

CCC 被交付者は、特定の活動（例えば、強力な協力関係を築く、がんの負担を評価する）を実施し、共有される一定の成果（例えば、リスクの低減、および生存率の強化）に向けて努力することが期待されています。州計画または資金援助申請書のために作成されたかもしれない既存のプログラムの説明に加えて、被交付者の業績に期待される内容は、ロジックモデルまたは介入活動および目的とするアウトプットと成果を起草するうえでの良い出発点です。

- **起草と共有**

プログラムの説明を最初から作成するために利害関係者とのミーティングを計画するよりは、むしろ、前述のヒントに述べたように既存のリソースからプログラムを起草し、利害関係者と協力してその原稿の欠陥や矛盾を明らかにして対処することを検討して下さい。この起草と共有アプローチは、利害関係者との連携と評価計画に対するリソースが限られる中で協力しているプログラムに特に役立つ可能性があります。原稿が従来のプログラムの説明（すなわち、プログラムと主要利害関係者が何をしようとしているか述べたこと）と被交付者の実績に期待される内容（すなわち、プログラムと主要利害関係者が資金提供で何をすることが期待されているか）に厳密に一致している場合、利害関係者が起草と共有アプローチにうまく応える可能性が高いです。利害関係者を混乱させるおそれがあるので、従来のプログラム計画やガイドラインと大幅に異なる原稿を提示することは避けるようにして下さい。

- **ファシリテーターと協力する**

プログラムの既存の説明が古かったり、漠然としていたり、またはその反対で、足がかりにできる部分がほとんど無い場合には、プログラムの詳細説明の起草と仕上げの両方で利害関係者と連携する必要があるかもしれません。このような場合、プログラムの重要な構成要素、プログラム独自の内容、およびプログラム作成の段階を通して考慮し、あなたの評価利害関係者グループを指導することができるファシリテーターと協力することが役立つかもしれません。ファシリテーターは、グループの円滑化と評価の強力な技術を持った外部契約者または衛生局のスタッフメンバーとすることもできます。プログラムの説明にロジックモデルを含める考えである場合には、ファシリテーターがロジックモデル化プロセスを通じてグループを指導するために必要な経験と技術を必ず備えているように気をつけて下さい。このツールキットの関連セクションをファシリテーターと共有すれば、ファシリテーターが評価利害関係者グループとのミーティングの準備をするのに役立つかもしれません。

- **柔軟に**

CCC プログラムは、住民のニーズ、プログラムのリソース、およびその他の状況的現実に基づいて、時間と共に変化します。したがって、プログラムを説明するロジックモデル、表、および解説は、再検討して定期的に改訂し、プログラムの変更を反映させることが必要になるでしょう。プログラムの説明は確定されたものではなく、評価を通じて改善されるかもしれないことをプログラムのスタッフと利害関係者に指摘しておくこと、実施プロセスがささいなことでも立ち往生することを防ぐことができるかもしれません。CCC プログラムと評価を実施する時には、プログラムの詳細な全体像を提供することが大切ですが、利害関係者やスタッフの時間を含みリソースを効率的に使うことも重要です。

- **現実的に**

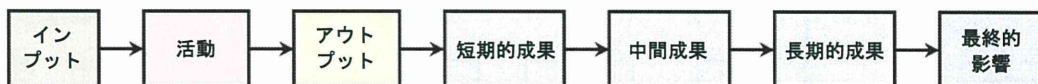
あなたのプログラムの説明がプログラムの活動と目的とする成果の現実的な姿を描き出すことは非常に重要です。プログラム評価計画は、あなたのプログラムが何をするか、またプログラム活動の成果は何を達成することを目的としているかという、この説明と関連しています。プログラムの説明が現実的でも正確でもない場合、達成を実証することが難しくなり、プログラム評価が有用な知見を生み出すとは考えにくいです。

プログラムの説明のためのツールとテンプレート

このセクションでは、上に挙げた情報を各プログラムに当てはめるうえで役立つツールを示します。まず、各ツールの白紙テンプレートを、次に参考として記入済みのテンプレートを示します。

ツールとテンプレート：プログラムの詳細説明の概要（白紙テンプレート）

- I. **CCCプログラムの重要な構成要素**：あなたのプログラムのロジックモデルの写しを挿入するか、またはあなたのプログラムのリソース、主要活動、およびプログラム活動の予想されるアウトプットとプログラム活動の成果を表および／または記述式で説明して下さい。



- II. **進展段階**：あなたのプログラムの進展段階について、簡単に説明して下さい。

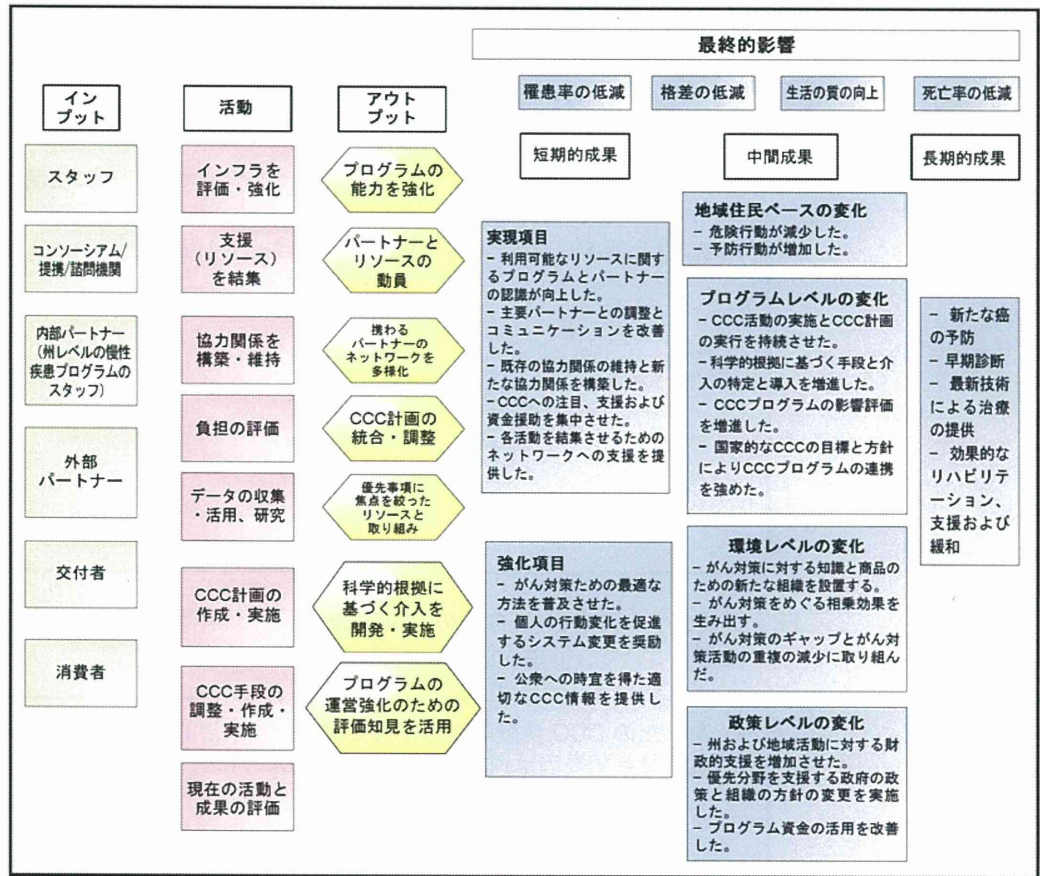
- 完了した主要な活動、現在取り組み中の活動、そしてまだ開始していない活動は？

- III. **プログラムの内容**：あなたの CCC 活動の成功に影響する可能性があるプログラム独自の内容について、簡単に説明して下さい。

- あなたの CCC 活動に影響がある歴史的、政治的なプログラムまたは団体、および地域社会的要因は何ですか？またどのように影響を与えますか？

ツールとテンプレート：プログラムの詳細説明の概要（記入例）

- I. CCCプログラムの重要な構成要素：あなたのプログラムのロジックモデルの写しを挿入するか、またはあなたのプログラムのリソース、主要活動、およびプログラム活動の予想されるアウトプットと成果を、表および／または記述式で説明して下さい。⁸



⁸ このロジックモデルの例の原寸版は、付録 C に掲載されています。

II. 進展段階：あなたのプログラムの進展段階について、簡単に説明して下さい。

私たちのプログラムは実施段階にあります。

- 完了した主要な活動：
 - アフリカ系アメリカ人における結腸直腸がんに関する認識を向上させるための社会的マーケティング・キャンペーンを実施した。
 - 米国医師会（American Medical Association）を通じた医療提供者の教育シリーズを実施した。
- 現在取り組み中の活動：
 - 評価介入
 - CCC 計画の改訂
 - 負担報告書の改訂
- まだ開始していない活動：
 - 新しい CCC 計画と負担報告書の普及
 - 新しい CCC 計画の実施

III. プログラムの内容：あなたの CCC 活動の成功に影響する可能性があるプログラム独自の内容について、簡単に説明して下さい。

● **州政府支出金の削減**

がんの予防と対策のための州政府支出金の削減により、私たちの CCC 予算が 10% 削減されました。この予算減少を受けて、負担報告書の改訂のための学術パートナーとの契約を更新しておらず、この作業の大部分を組織内で終えています。残念ながらこの修正は、今年の負担報告書改訂には以前（1 ヶ月）よりはるかに長い時間（数ヶ月）がかかることを意味します。

● **タバコ政策の可決**

包括的禁煙キャンパス・ポリシーが州のトップレベルの学区に導入されました。この取り組みの間に、私たちの CCC 負荷文書が教育政策担当者に活用され、CCC 連合はがん対策推進者と政策変更の賛同者と提携して州のタバコ規制推進者のためのフォーラムを提供しました。学区指導部はがんとタバコ規制推進者との強力と州全域の他の学区で禁煙ポリシーを強化するよう働きかけることに同意しました。

プログラムの詳細説明作成のためのチェックリスト

- 主な利害関係者と協力して、プログラムのリソース、重要な活動、および活動の眼に見える結果と目的とする成果を（記述式、表、および／またはロジックモデル形式で）明確に説明する。
- 主な成果、現在の活動、およびまだ開始していない活動についての簡単な説明を含めて、プログラムの段階の進展を記録する。
- CCC の取り組みに影響を及ぼす状況的要因を明確にし、説明する。

評価の計画と方法

評価利害関係者と、
関係する主要利用者

プログラムの
背景と説明

評価の
計画と方法

知見の
普及と活用

このセクションは、評価と CCC プログラム評価のための適切な方法の確立に焦点を当てたガイダンスを提供します。以下の点で役立つことを目的としています。

- 評価が焦点を当てるプログラムの領域と評価が取り組む具体的な課題を明確にする。
- 各評価課題について、指標を作成しデータ収集源と収集方法、およびデータ解析計画を明確にする。
- 46 ページに提供されるワークシートのテンプレートを用いて、プログラムの詳細な評価計画と方法の基盤を起草する。

私たちは、「評価の計画と方法」という用語を、評価の焦点、課題、およびデータの収集および解析の方法の説明を指して使います。評価プロセスのこのステップは、利害関係者と連携し、プログラムの詳細な説明を作成する、前の取り組みに基づいて進められます。利害関係者にとって、プログラムの明確なイメージを持ち、プログラムについてどの情報が重要であるかを明確に理解していることは、プログラムのどの構成要素をどのように評価するか評価者が判断するのに役立ちます。



このセクションの 46 ページのマトリックスを参照して下さい。評価の計画と方法の作成と記録に役立つように作られています。

評価の焦点

一般的に言って、評価はプログラムの実施（またはプロセス）、プログラムの成果、あるいはその両方に焦点を絞ることができます。評価の種類の概説は、セクション 1 の「評価の手引き」を参照して下さい。一方で、私たちは「評価の焦点」という用語を、評価される具体的な CCC プログラムの構成要素を指して使います。

CCC プログラムの評価焦点領域の例

5年の資金援助期間の間、米国包括的がん対策プログラム（National Comprehensive Cancer Control Program, NCCCP）の被交付者は、3つのPを評価することが求められています。

- 協力関係とは、あなたのCCC連合の質、貢献、および影響を意味します。
- 計画とは、州規模のCCC計画の質と実施を意味します。
- プログラムとは、CCC行動計画に述べられた介入が実行され、意図された結果を得る範囲を意味します。

3つのPに加えて、評価は以下のような主要利害関係者が興味を持つ、他のプログラム構成要素に焦点をあわせることもできます。

- 結果とは、プログラムによって生み出されるCCC資料の質または使用を意味します。
- トレーニングとは、プログラムによって提供されるCCCに関連するトレーニングの質と影響を意味します。
- 統合とは、CCCプログラムが同じ州、部族、またはテリトリーの関連慢性疾患プログラムと統合される程度を意味します。
- 効率とは、プログラムに投資されたリソースによって生み出されたアウトプットの価値と量を意味します。

潜在的評価焦点領域の長いリストからどのように選択するか？

以下は、評価焦点領域に関する決定に影響する要因です。

- 利害関係者の興味：評価の焦点を狭める場合、資金提供者などの重要な利害関係者が興味を持っている事柄を考慮することが重要です。
- 評価リソース：評価の取り組みの支援に利用可能な、予算、時間、およびスタッフ資源の量を検討して下さい。資源が限られるプログラムでは、評価の焦点を3つのP以外に拡大することは実行可能ではないかもしれません。
- プログラムの進展段階：いくつかの焦点領域をプログラムの進展段階に基づいて除外することができる可能性があります。例えば、プログラムが州規模のCCC計画の更新とその活動にプログラム資源を大幅に割り当てるプロセスにある場合（その時点でプログラムにとって優先事項ではないかもしれない、トレーニングなどの他の取り組みではなく）、CCC計画をプログラム評価計画の主な焦点とすべきです。

以前の評価活動を基盤とする

利害関係者の興味については、評価の最初のステップ「評価利害関係者と、関係する主要利用者」で既に文書として作成していることを思い出して下さい。更に、2番目のステップ「プログラムの背景と説明」で評価リソースを文書として作成し、プログラムの進展段階を説明しました。評価の焦点を絞り、また評価課題を作成するうえで利害関係者と連携する際には、この作業結果に戻って引用して下さい。

評価課題

利害関係者と連携して評価のための焦点領域を特定したら、各焦点領域について評価課題の起草を始めることができます。「評価課題」では、知っておきたい点を列挙します。表4は、3つのPについての評価課題の例を示します。

CCC プログラムはいくつの評価課題に取り組むことが期待されているか？

いくつの評価課題を評価デザインに含めるかについての厳しいルールはありません。CCC プログラムは、主要な利害関係者にとって重要な課題を特定すること、またプログラム改善の取り組みを容易にすることを期待しています。プログラムが取り組める評価課題の数は、CCC が利用可能なリソースの程度と評価に関する専門知識に依存します。3つのP（協力関係、計画、およびプログラム）のそれぞれについて、少なくとも1つの評価課題を特定し、実行可能なまま、その範囲を超えて評価デザインを拡大する必要があります。

表4 評価課題の例

評価の焦点	評価課題
協力関係	<ul style="list-style-type: none">● CCCの協力関係はどのくらい強力か？● 利害関係者は協力関係による作業に満足しているか？● 協力関係の維持に（プラスまたはマイナスに）影響している要因は何か？
計画	<ul style="list-style-type: none">● CCC計画は質が高い計画か？● 計画の目標、目的、および手段を意図したように実施しているか？また、その理由は？● パートナーは計画をどのように利用しているか？
プログラム	<ul style="list-style-type: none">● 年次行動計画に記載されている証拠に基づく介入は計画されたように実施されているか？また、その理由は？● 対象とする情報の受け手は、証拠に基づく介入に満足しているか？● 証拠に基づく介入に求められる成果を生み出しているか？

潜在的評価課題の長いリストからどのように選択するか？

評価焦点領域に関する決定に影響を及ぼすのと同じ要因が、評価課題の選択の指針となるはずです。

- **利害関係者の興味**：主要な利害関係者の重要な興味の対象である評価課題を選ぶことによって、限りある評価リソースを最小限に抑えて下さい。利害関係者に生み出される情報の有用性を順位付けしてもらった、評価課題の候補のリストがあると便利かもしれません。
- **評価リソース**：プログラムと利害関係者は幅広い評価課題に取り組みたいかもしれませんが、このような包括的な評価はリソースの制限のために実行可能でないかもしれません。あなたのプログラムがその実施に足りる十分なリソースを持つ、適切な評価活動の計画と評価デザインの作成をうまく両立させることが重要です。

- **プログラムの作成段階**：評価課題が CCC プログラムの作成段階に適切であることが重要です。例えば、新しい介入に着手するプロセスにあるプログラムは、健康に対する介入の長期的影響についての評価課題に取り組むことができません。その代わりに、このようなプログラムは、新しい介入の実施と介入について予測される短期的成果と中間成果に関する評価課題を作成しなければならないかもしれません。
- **プロセスと成果**：プログラムを評価する場合、プロセスと成果の両方の課題を組み込むことが重要です。プロセスの評価は、プログラムがどのように実施され、運営されたかを明らかにし、評価します。成果の評価はプログラムが及ぼす影響を評価し、プログラムの長所とプログラムの価値についての結論を示し、今後のプログラムの方向または改善に関する提言を行います。

年次評価計画に毎年新しい評価課題を含める必要があるか？

被交付者は毎年評価計画を提出する必要があります。しかし、私たちはその計画に毎年同じ評価課題が数多く含まれることを期待しています。これは、一部の課題は答えを得るために1年以上かかり、また5年の予算期間を通じて継続するデータ収集が必要であるためです。もちろん、優先事項の変更に伴って、評価課題を変更することもできます。

指標

利害関係者と連携して評価のための焦点領域と各評価焦点領域についての評価課題を特定したら、各評価課題についての指標を特定する必要があります。「指標」という用語は、評価課題に答えるために必要なデータと評価の種類を指します。指標は、プログラムの実績の目に見える、測定可能な証拠です。評価課題は、2つ以上の指標である場合もあることに留意してください。表5は、協力関係に関連する評価課題についての指標の例を示しています。

達成度評価がどのように関連するか？

達成度評価は、CDC が被交付者の全般的な取り組みと影響を理解するための手段であり、またプログラムに提供する技術支援を改善するための情報を集めるための手段です。達成度評価は、協力関係と計画の実施を取り巻く、注目すべき一連の指標について明らかにします。3つの P に焦点を当てたプログラムの詳細な評価は、これらの評価を組み込み、プログラムの達成度と影響を評価する追加の指標を提供します。

表 5 協力関係、計画、プログラム評価課題のための指標の例

評価課題	指標
強力な CCC 協力関係を築いたか？	<ul style="list-style-type: none"> ミーティングの参加率 代表を出しているセクターの種類と数 主要な対象グループの代表性 パートナーによる貢献の種類と数
計画は意図したとおり実施しているか？	<ul style="list-style-type: none"> CCC 計画の目的が意図されたとおり実施されている程度 CCC 計画に関連する活動を実施する CCC のメンバー組織の数
日光に関する新しい安全介入は、参加者の知識と行動を意図したように改善しているか？	<ul style="list-style-type: none"> 教育セッション前の個別参加者の日光に関する安全知識と行動 教育セッション後の個別参加者の日光に関する安全知識と行動

評価課題に対する適切な指標はどのように特定するのか？

評価課題のいくつかに対する指標は自明であるように思えるかもしれませんが。例えば、表 4 の「利害関係者は協力関係による作業に満足しているか？」という評価課題について考えてみてください。この課題に取り組むためにあなたに必要なデータは、質問自体に述べられています。この評価の明らかな指標は、「協力関係について、利害関係者が報告した満足のレベル」となります。

しかし、評価課題のために指標を特定するのは、いつもこのように直接的なステップとは限らないかもしれません。表 4 の別の評価課題「CCC の協力関係はどのくらい強力か？」について考えてみてください。この課題の指標を特定する前に、評価課題の意味を明らかにする必要があります。つまり、あなたのプログラムにとって「強力」な協力関係を構成するものは何かを明らかにする必要があります。

- 私たちは、以下が強力な協力関係の特徴、ひいては優れた指標であると考えます。
 - ミーティングの出席者が多い
 - 重要ながん治療セクターが協力関係に代表を出している
 - 対象集団が協力関係に代表を出している
 - メンバーが協力関係の作業に貢献する

評価課題が適していれば、適切な指標の特定が容易になります。